

# 看護師・理学療法士 長期ボランティア 募集要項

●NGO 日本医療開発機構 Japan Medical Development Organization とは .....	2
●長期ボランティアについて .....	2
●ボランティア活動内容 .....	3
●ボランティアのスケジュール .....	3
●JMDO の活動内容 .....	4
●ボランティア応募対象 .....	5
●ボランティアにかかる費用 .....	5
●渡航までの流れ .....	6
●スタッフからのコメント .....	6
●よくある質問 .....	7
●応募方法 .....	7



日本医療開発機構  
Japan Medical Development Organization

## ● NGO 日本医療開発機構 Japan Medical Development Organization とは

NGO 日本医療開発機構 (JMDO) は、2010 年 1 月に脳神経外科医 北原茂実によって設立されました。日本の医療知識・技術を発展途上国の医療発展を促進させていく事を目的としています。そして発展途上国での支援を通し、日本人医療スタッフや医療関係企業が海外にて活躍できる機会を提供していきたいと思っています。

カンボジアでの活動は、2011 年 12 月より開始しました。

“Better quality of medical / health care for Cambodians by Cambodian medical staffs” を目標に掲げ将来的にカンボジアの医療者のみで良質な医療が提供できるようになることを目指しています。医療は「整備された医療環境」と「教育された医療スタッフ」の双方がある事で発展すると考え主な活動として、「国立病院における医療環境の向上」、「医療者養成校、医療機関における医療者学生への教育提供」を行っています。

## ● 長期ボランティアについて

経済的な発展を続けるカンボジアですが、医療は ASEAN 諸国の中でも、決して質がよいとは言えず発展から取り残された状態です。私達が介入している国立コサマック病院では適切なケアを受けられず肺炎を発症したり、褥瘡が出来てしまう患者さん、リハビリを受けられず寝たきりになってしまう患者さんがたくさんいます。

長期ボランティアでは、このコサマック病院を主な活動の場とし、そのような医療の現状を変えるために活動して頂きます（詳細は次ページ記載）。



## ● ボランティア活動内容

ボランティアの主な活動は国立コサマック病院 脳外病棟にて患者様への臨床介入を行って頂きます。活動では主に以下のような介入をして頂きます。

- 患者の清潔ケア
- 創傷処置のラウンド
- 患者の状態確認、家族への指導
- ADL 向上支援（リハビリなど）
- 基礎看護分野のスタッフ、学生指導
- コサマック病棟脳外科 ICU での患者様への臨床介入、スタッフ指導



## ● ボランティアのスケジュールについて

当 NGO の長期ボランティアは 6 ヶ月間、1 年間での受入れを行っています。

下記はボランティアスケジュールの 1 例となります。

臨床研修 (2 週間)	JMDO スタッフがコサマック病院での臨床をとおして臨床指導を行います。
一般病棟での 臨床介入 (5,5 ヶ月間)	臨床研修終了後、一般病棟にてボランティアスタッフが患者様に介入。 JMDO スタッフが適宜、フォローアップを行います。
脳外科 ICU 臨床研修 (2 週間)	JMDO スタッフが臨床をとおして脳外科 ICU での臨床指導を行います。
脳外科 ICU 臨床介入 (5,5 ヶ月間)	ICU 研修終了後、脳外科 ICU にてボランティアスタッフが患者様に介入。 JMDO スタッフが適宜、フォローアップを行います。

※午前はコサマック病院にて活動、午後は説明資料や書類作成を行うなど、翌日の活動のための準備時間となります。

※ボランティアさんのみの活動となった場合でも、JMDO スタッフは常に連絡の取れる状態にいます。

※申し込み時、6 ヶ月間のボランティアで参加された方でも、終了後、6 ヶ月間延長する事が可能

※上記スケジュールは一例です。参加者の能力や経験、現地での活動状況により、手術ミッションの準備や退院患者様のフォローなど他の活動内容のお願いする事もあります。

## ● JMDO の活動内容

### ■ 国立病院における医療環境の向上



開設したコサマック病院脳外科 ICU

学生の実習機関となっているコサマック病院の環境を日本の施設に近い形に変える事で多くのカンボジア人医療者・学生が適切な医療環境をイメージできる場を提供し、実際に、今まではカンボジアで行われていなかった手術や医療の形を実践しています。

これまで手術室の改装脳神経外科専用の脳外科 ICU 開設、医療機器の設置なども行い、急性期治療が可能な環境を作り上げています。

コサマック病院では、入院患者さんへのリハビリテーションが不十分であり、脳卒中、頭部外傷、脊髄損傷で後遺症が残った患者さんが寝たきりのまま退院してしまう場合が多いです。

当 NGO のカンボジア人看護師、コサマック病院スタッフへに離床の必要性、離床する際の注意点の指導をとおして、患者さんの離床支援を実施しています。



コサマック病院での離床支援

### ■ 医療者養成校、医療機関における医療者・学生への教育提供



コサマック病院での看護学生指導

医療者の育成のため、国立コサマック病院で実習中の看護学生へ臨床介入をとおして基礎看護教育を実施しています。

また、コサマック病院やプライベートクリニックの CMMC Jeremaiah' s Hope にて定期的に手術ミッションを行い、カンボジア人医師への技術指導や看護師への術後管理指導などを行っています。

当 NGO の理学療法士が医療者養成校 Technical School for Medical Care (TSMC) で定期的に講義を実施しています。

講義を行った学生を対象にコサマック病院で臨床実習受け入れを行い、講義で学んだ知識、技術を臨床実習をとおして活用してもらう講義と実習を連動させた指導を実施しています。



TSMC での講義の様子

## ● ボランティア応募対象

臨床経験 1 年以上の看護師、理学療法士

英語能力不問（英語能力がある方は歓迎いたします）

当 NGO のスタディツアー、または短期ボランティアに参加した事がある方

## ● ボランティアにかかる費用について

ボランティアには以下の費用がかかります。活動に関わる現地での交通費以外は自己負担となります

入会金	ボランティアに応募された方には、当 NGO の正会員になって頂きます
渡航費	各自で航空券を購入し、指定日までに現地までにご自身で来て頂きます
海外旅行保険	各自、自己負担にて加入して頂きます。
予防接種	各自で接種して頂きます。接種については自己責任とさせていただきます
滞在費	滞在先は当団体が契約している寮を使用 寮使用費は各自負担（\$100 / 月）
食事	各自負担
交通費	活動に準ずる交通費のみ支給



## ● 渡航までの流れ

### STEP 1 応募書類を提出

JMDO 事務局のメールアドレス宛てに長期ボランティア希望の旨を記載したメールを、医療者免許証、履歴書を添付して送って下さい。

### STEP2 スタディツアー、短期ボランティアに参加

長期ボランティア参加前に当 NGO のスタディツアーまたは短期ボランティアに参加し、活動を見学、体験して頂きます。

※タイミングがあわない場合は個人視察も可能です。

### STEP3 面接、審査

スタディツアー、短期ボランティア参加後、帰国前にカンボジアで個別面接を行います。審査結果は面接後、1 週間以内にご連絡致します。

### STEP4 参加決定者に渡航手続きについての書類を送付

長期ボランティアへの参加が決定した方に、渡航手続きの詳細、渡航に関する注意点などを記載した参加要項をメールにて送付致します。

### STEP5 現地へ出発。プノンペン空港にて現地スタッフがピックアップ。

## ● スタッフからのコメント

カンボジアでは日本のように医療も教育のシステムも整っていません。そんな中で活動をしていると、基礎が、いかに大切かを改めて思い知らされます。

私は決して経験が豊富ではないですし、特別なスキルも持っていませんが、出来る事はたくさんあります。「自分の可能性を試したい」「人のために働きたい」など、きっかけは人それぞれ。

日本では出来ない経験、出会えない感動が、ここにはたくさんあります！

一緒に活動を作り上げてくれる方、大募集です！！

看護師 笠原 明日香



## ● よくある質問

Q：臨床経験が1年で、何が出来るかわかりません。大丈夫でしょうか？

A：大丈夫です。JMDO スタッフはコサマック病院でカンボジア人スタッフに基本的な医療知識、技術の指導を行っています。また、私達も日々、学びながら活動しています。何が出来るかを一緒に考えていきましょう。

Q：1ヶ月どの程度の生活費が必要ですか？

A：寮費には水道光熱費が含まれていますので、生活費は主に食費になるかと思われます。贅沢をしなければ月300\$で生活することができます。

Q：予防接種は何を打てばよいですか？

A：A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病の予防接種を推奨しています。現地でも予防接種を受ける事は可能です。

Q：英語が話せないのですが、参加できますか？

A：英語が話せた方がコミュニケーションの幅は広がりますが、必須ではありません。言語は使う事で上達しますので、日々の活動の中で少しずつ覚えていきましょう。

Q：現地の食事や飲料水はどのようにすればよいでしょうか？

A：食事、飲料水については各自で購入して頂きます。自炊なさる方は寮のキッチンを使用する事ができます。外食や食材を購入する店については、JMDO スタッフがお教えします。

Q：現地で連絡はどのようにすればよいですか？

A：ボランティアさん用の携帯電話が支給されますので、それを使用して連絡をとって頂きます。また寮にはインターネット設備があり、インターネットを使用して連絡する事もできます。

Q：持ち物や加入した方がよい海外旅行保険などについて教えてください。

Q：現地にお金をたくさん持っていくのが不安です。

A：ボランティア参加が確定した方には、持ち物、海外旅行保険、現地での銀行口座作成など、渡航に関する手続き、注意点などを記載した参加要項を送付しています。参加要項をご確認のうえ、ご不明な点があれば事務局までご連絡下さい。

## ● 応募方法

下記、問い合わせ先アドレスまで、医療者免許証、履歴書（長期ボランティア参加希望時期を明記）を添付して送付して頂くようお願い致します。

お問い合わせ：asuka\_takabatake@kitaharahosp.com

HP：http://www.japan-medical.org/

Face Book：https://www.facebook.com/japan.medical.dev.org



**迷うより、まずやってみよう！  
失う事より、得る事の方がずっと多いから。**